

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

● 第85回 ●

■ 理事長の仕事

公益社団法人日本連珠社の理事長になって1年が経ち、最初はさほど負荷がなく名誉職だと思っていたら、久保さんが入院され、一気にほとんどすべての仕事をしなければいけなくなった。今まで知らなかったが、久保さんの仕事量はかなり多く、一人に押し付けていたのが良くなかった。理事長の仕事というより、日本連珠社としてやらなければならぬことがたくさんあってきたので、この機会に書いておきたい。

① 定例業務

・ 連珠世界の発行

発行自体は石谷編集長↓久富さん↓印刷会社なのですが、誰に送るかというリストは会計が絡んでくるため、

久保さんから指示を出している。特に2月〜4月は会費納入が絡んでくるため、督促の文章も変えないといけない。私がまず久保さんから引き継いだのがこの業務である。ただし、久保さんが既にワードで帳票を作成していたので、それをメ

ンテするだけで良い。問い合わせも久保さんの奥様から転送されてくるため、「本を購入したい」「連

珠世界を購読したい」などの問い合わせも入ってくる。そのたびに新しい住所を印刷所に伝えて送ってもらっている。大商印刷さんにはメールでやり取りができるので、比較的簡単である。最近はこの送付は岡部君にお願している。

・ 費用精算

会計事務は新理事の小磯

さんに引き継がないといけないが、当面私と安本さんとで手分けしてやっている。ただし、連珠世界の印刷代

金だけは久保さんの奥様に振り込んでもらっている。

・ 免状筆耕依頼

昇入段者は詰連珠・大会優勝者などで結構年間多くの依頼がある。これも筆耕者とメールで連絡がつくので、メールで依頼する。筆耕料は数にかかわらず、年間契約をしている。(この振り込みも久保さん奥様にやってもらっている)

② 理事会開催

理事会の開催も重要な仕事である。過去の議案書、議事録と何度もならめっこしながら平成28年度の最後の理事会と平成29年度の第1回、第2回の理事会、そして平成29年度の総会を久保さん抜きで開催しないといけなくなった。今まで久保さんから送られてきた議案書などはあまり真剣に見ていなかったが、いざ自分が作るとなると、前例があるのがありがたい。見よう見まねで作成して会議

に臨むこととなった。

印刷や発送が大変だったが、そのおかげで、省力的な会議運営となって、どうしたら連珠が盛んになるかについて多くの時間を取って話し合うことができたのは良かったと思う。今後、事務的なことは極力省略していきたいと思っている。

③ 国への報告

・ 内閣府への報告

これが一番大変である。何しろ公益社団法人が維持できなくなれば、解散、そして基本資金は没収である。プレッシャーもかかってくる。久保さんが2度目の入院をされた後、すぐに内閣府の役人の方から電話がかかってきた。

「平成28年度の修正と、平成29年度の事業計画を3月末までに。そして29年度の総会の報告を6月末までに」という指示が来たので、早急に修正をすることになった。エクセルシートを修

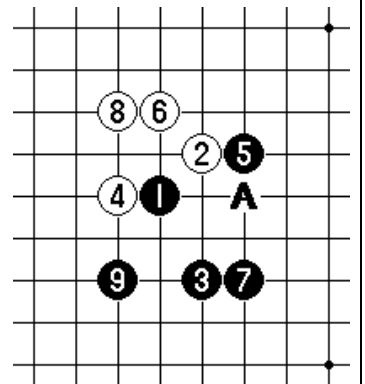
＜郵便小為替＞



正するだけなので、実は簡単で、見えないものに怯えていただけかもしれない。3月末までの事業計画もそのまま入力するだけで良いので問題なかった。6月末の報告は20種類近いファイルを入力しなければならぬので大変だが、データが揃ってればそれほど大変ではない。大変だったのは、所沢市役所、埼玉県税務所、埼玉県税務署の3つに手紙を出して、「税金を滞納していません」という証明書を取得しなければならぬこと。ここで、こういう平日業務がある会社員にはきつくなる。ちなみに、市と県では収入印紙ではなく、「郵便小為替」なるもの

を送れということだったので、郵便局で購入した。初めての経験で、いろいろ社会勉強にはなる。
 ・法務省への報告
 公益社団法人の理事改選に伴い、新しい役員を登録しなければならぬ。これが結構難物で、役員承諾書、新規の理事には身分証明書、定款や総会議事録原本、理事会議事録原本などが必要となる。しかも収入印紙1万円！が必要とのこと。事務手続きが大変な上にお金も高い。さすがはお役所仕事である。
 ここで分かったのだが、一般社団法人も公益社団法人も手続きは同じで1万円が必要なのも同じである。一般と公益の違いは公益事業をしているかどうかの違いだけなのである。とすれば、胸を張って公益性があるといえる日本連珠社は公益社団法人の方が都合が良い。作るのは難しいが、維

持するのはさほど難しくない。ただし、定期的に立ち入り調査があるようで、今年当たっているようだ。久保さんが入院している間は何とか先延ばしにできないかと考えている。
 家族、会社、連珠と3つ抱えていると、それぞれに全力を注ぐのが難しい。当面連珠に注力しているが、何か起こると（例えば海外転勤など）途端にできなくなるのがアマチュアならではの難しさである。
 さて、局譜がまったくないので一局だけ載せておこう。京都オーブンで幸いにも優勝することができた。2位となった長谷川九段との対戦が当然ポイントとなった。
 白 長谷川九段
 黒9にて白投了
 四珠交替打ちであるが、まずは嵐月を指定。交替して打たせてくれたので、白4と三題を提示。また交替



して結局黒番となった。
 黒5は結構研究していたのだが、長谷川九段もA級での経験がある。白6に黒7が定石化されているが、ここで短い持ち時間（20分）の中で長考して白8と打ってきた。白8では通常Aと引くのだが、白8と打てないので引いている訳で、何かあるはずに違いない。程なく黒9を発見。ここが打てれば以下追い勝ちにできる。長谷川氏も悟ったようである。ここで投了となった。四珠交替打ちの怖いところでもあるが、こういう形はこれまで現れてこなかった。ので、打つと結構楽しい。